

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103698
法人名	(有)ラッセル社
事業所名	グループホームみなみ
所在地	松山市津吉町1142番地の1
自己評価作成日	平成21年11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気を大切にしている。利用者にとっての身近な存在であり、安心できるように努力している。
バス停やめだか、季節の花々など落ち着ける雰囲気にしている。
職員間の連絡や相談が気軽に行えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者が「～したい」ということを記録して、介護計画に反映するようにされている。認知症の重度化に伴い、意思表示がむつかしいような方も多いが、選んだり決めたりできる場面を多く作り、ご本人の思いに沿った支援が出来るよう努めておられる。
利用者の重度化がすすみ、できることが少なくなってきた現状があるが、いんげん豆のすじ取りや野菜の皮むき等、利用者が食事作りに少しでもかかわることができるように支援されている。事業所では、利用者一人ひとりに合わせた食形態に配慮され、ミキサー食でも食感を残すよう加減されたり、きざみ食については、きざむ大きさを調整されている。又、好みではないおかずを避けるのではなく、少なめに盛り、好みのものを多めにする等の工夫もされている。水分が多く摂れるように朝はおかゆ、また3食ともに汁物を付けるようにされている。調査訪問時、ご自分のお膳を下膳をされる利用者も見られた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームみなみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

上田 育代

評価完了日

21年 11月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としている。	
			(外部評価) 「ボケても自分らしく生きられる」という理念とともに、事業所では「R,R,Q」(Relation:地域の皆様とのつながり Respect :高齢者を尊敬する Quality :介護の質)と掲げて取り組んでおられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 組み入りして役員をしたり、清掃などにも協力している。また、地方祭や、鱈のつかみ取りなど、行事に参加したりもしている。	
			(外部評価) ご近所の方が野菜やお花を届けてくださったり、今年の地方祭は雨であったが、お神輿が事業所に来てくれ、利用者は喜ばれた。地域の子ども達に利用者がお菓子を配られた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 現在は推進委員会での疑問等などにお答えしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の情報やホームでの出来事に関して詳しくお話し、よい点も悪い点も、話し合いできるように努めている。自分達の姿勢を提示し意見を求めたりもしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>町内会長や民生委員、ご家族や地域包括支援センターの担当者等にも出席いただき、2ヶ月ごとに会議を開催されている。会議では、利用者の現状報告や外出等の報告をされている。ご家族からの意見については、改善策等について報告をされている。町内会長からは、行事の案内をいただいたり、交通事故等、地域内で注意することを教えてもらっている。会議時、出席者に借りることができる畑はないか相談をされた。</p>	<p>現在、地域からの出席者や事業所側から出席する人も決まってきたようである。今後、地域のいろいろな立場の方に出席いただけるよう働きかけをされたり、職員も参加する等、事業所のさらなるケアサービスの質を高めていくためのアイデアや意見が出やすいよう、会議の取り組みをすすめてみてはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営等で疑問点・改善点があれば、相談するようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>生活保護受給者の生活については、市の福祉課と相談しながら支援されている。運営推進会議では、市の担当者から市社協の研修会の案内をいただいたり、地域包括支援センターの担当者からは介護予防教室の案内をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員全てが身体拘束の禁止事項を理解し、拘束のないケアを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中は、玄関の鍵はかけていない。管理者は、月に一度のスタッフ会議の中で、身体拘束の具体例を挙げて話される等、職員の意識向上を図られている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員の普段の様子を観察すると共に利用者の身体の観察も同時に行っている。身体的・精神的変化を見逃さないように職員全体でお互い注意し、報告・連絡等も行っている。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>実際に成年後見制度を1名利用されており、勉強会にも参加し、成年後見人の方とも、相談等行えている。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約等については、契約書・重要事項の説明を行うと共にわずかな疑問に対してもお答えしている。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族や利用者との間で、出来るだけ細やかな対応をし、連絡したり、来所時にはゆっくり話す機会を持ち、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。また、その話をミーティング等で話し合うようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時にお話をされたり、電話で希望を聞き取ってられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>運営に対して職員の提案・意見を定期的なミーティングでの話し合いや個々でも相談しやすいような雰囲気作りが心にかけている。代表・管理者のほか主任2名含め、互いに協力し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>バス停を探して落ち着かれない利用者への対応として「バス停を作ってはどうか。」という職員の提案があり、代表者が事業所の玄関前に手作りのバス停を作られた。</p>	職員は、もっと勉強をしたいという思いを持っておられる。職員が外部研修を受講する機会や事業所内でも勉強する機会を作り、職員個々がスキルアップできるような仕組みを作っていかれてほしい。事業所のさらなるケアの質向上を目指した取り組みが期待される。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>少しでも還元できるように加算基準を満たす努力はしている。勤務年数に応じた昇給、加算分の還元をまとめて行うなど。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>研修を勧めたり、資格取得に対しても積極的に勧め、スキルアップに努めている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>職員が他施設に見学に行ったりしたり、来ていただいたり話をしたり、お互いのよいところを伝え合ったりし、よいところは取り入れたりしている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>本人と話す時間を持ち、出来るだけ多くの事を聞き、何が不安で何を必要としているかを理解している。本人が話したいときに待つではなく、まず耳を傾ける努力を行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>これまでの家族の苦労話や、サービスに対しての不安や、意見にその都度対応している。実際家族が気軽に話せる関係作りにも努めている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>家族・本人の意見を聞き、まず何が必要か検討し、支援を行っている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>本人の不安や楽しみ等を知ることに努め、共に支えあうように努めている。時には家族、知人になり、よりよい理解者になるよう努め、信頼関係が持てるようにしている。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>家族の面会の際には、出来事やその時の利用者の様子や現在の身体・精神状況など日ごろの状態を報告し、共に介護について話し合っている。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>本人が連絡を希望している場合は希望に沿うようにしている。馴染みの場所を思い出せない人も多くなっているのが実情である。</p>
			(外部評価)	
			<p>ご家族と一緒に県外にお墓参りに行かれる方や、ご家族と理容院に出かけたり、外食を楽しまれる方もある。事業所では、利用者の写真入りの年賀状をご家族に送る計画を立てておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 昔遊んだ事や、歌などを話題にしたりすることで全体の会話へとつなげ、お互いに懐かしんだりして交流を持つことが出来るように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院後体調が思わしくなく、退去となった方にも気軽に相談してもらえるような関係作りに努めている。相談には、誠意を持ってお答え対応している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者のペースにあわせ、一人ひとりが自分で決めたり、選んでもらう場面を作っている。選ぶのを待つ等の配慮を行っている。また個人個人の意見も大切にしている。困難な場合もその人に何が必要であるか、検討した上で行うようにしている。	
			(外部評価) 利用者が「～したい」ということを記録して、介護計画に反映するようにされている。認知症の重度化に伴い、意思表示がむづかしいような方も多いが、選んだり決めたりできる場面を多く作り、ご本人の思いに沿った支援が出来るよう努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 馴染みの家具・馴染みのもの等置き、家庭の雰囲気作りに努めている。家族より情報を聞く等している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日バイタルチェック行い、一人ひとりの健康状態を把握し、声かけや、会話、普段の様子を観察することにより、身体・心の状態を知るよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族・医療関係者・職員と相談し、意見等も検討し、毎日職員同士で話し合いも行い、利用者が一番良い、一番必要としていることを介護計画として作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>月に1回モニタリングを行い、3ヶ月に1回見直しをされている。ご家族の来訪時に希望をお聞きして職員で話し合って作成されている。介護計画の内容の一つひとつに、ご家族の了解の意味での印が付けられている計画書もあった。利用者ごとの担当職員が計画の評価を行うことで、よりご本人を観察し、ケアに活かされるようになったようである。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一ヶ月毎に介護計画の評価を行っている。経過記録を出来るだけ具体的に個人個人で記入してもらい、一ヶ月の経過記録より評価している。情報の共有、介護計画にも生かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>通院・外出等個人の希望に沿って出来るだけ職員で対応している。家族の希望があれば宿泊も出来る。出来るだけ個別にも対応できるよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在活用出来る方がいないが、本人の今までの生活や思いに沿った支援をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医については、本人・家族の意向を聞き、 以前からかかっているところを希望される方に関して は、従来通り同じ所を受診してもらっていたが、現在 は、全員、本人・家族の意向により、かかりつけ医の 往診を受けている。また、急変時にも医師に相談でき るように連携をとっている。</p> <p>(外部評価) すべての利用者は、協力病院がかかりつけ医となっ ており、月2回、往診に来てくれるようになってい る。主治医とは携帯電話でいつでも連絡できるよになっ ており、夜間や休日でも対応可能となっている。歯科医の 訪問診療もできるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 看護職員、訪問看護師等相談して、異常の早期発見・ 医師への報告等行い、重症化しないようにしている。 介護職員もほんのわずかな気づきも報告してもらうよ うにしている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 利用者が入院した際は家族との連絡、病院に状態を定 期的に聞きに行くなどして退院時期も早期に相談し、 対処出来るようにしている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 個々のレベルに合わせた話し合いを持っている。体調 の変化や身体・精神状態の変化に対して、家族にその 都度話し、理解してもらっている。重症化する恐れや 緊急時の対応なども医師や看護師を交えたりして行っ たりもしている。また、事業所での重症化・緊急時の あり方等も話し合いさせてもらっている。</p> <p>(外部評価) 事業所では、「重度化した場合における対応に係る指 針」を作成されており、入居時に、指針をもとに事業 所の看取りに対する考え方や体制について、ご家族に 説明されている。</p>	<p>終末期の事業所の支援について、ご本人やご家族の思 い等も踏まえながら、職員のスキルアップやご家族の 協力等、体制作りや勉強を今後もすすめていかれてほ しい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署職員に来ていただいて、緊急時処置を学んだり、急変時の応急手当も利用者の個々に合わせて行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 食器棚等地震対策はしている。消防署の方の定期的な点検も受けている。地域の方の協力としては、誰が駆けつけるといいう体制と言うのは困難であるが、推進委員会において、水害においての危険地区であり、起こりうることについての情報などは地域の方から提供して頂いている。 (外部評価) 年1度は、消防署の協力を得て避難訓練を行われている。事業所敷地内に代表者の自宅があり、緊急時には、すぐに駆けつけられるようになっている。職員は、救命救急やAEDの使用方法についての講習を受けておられる。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の先輩として尊敬の心を常に持ち会話・対応等している。自室やカーテン等利用し、プライバシーを保護している。また、言葉にも気を遣い、他人の前で言われて嫌なことは言わず、違うことで誘導し、ケアしたりするようにしている。 (外部評価) 調査訪問時、お人形を抱っこしている利用者がおられた。食事が始まり、職員が「リキちゃん(人形の名前)のご飯の用意ができたから食べにいくね」と声を掛けられると、利用者はお人形を職員に渡し、安心して食事を食べ始められた。居室のポータブルトイレは、使用しない時間帯には布が掛けられていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何かするときは必ず説明し、納得していただいている。嫌と言うことには強制しない。強制介入の必要がある場合には、時間をおいて接したり、対応方法を変更したり、柔軟に対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩・ドライブ・日向ぼっこ・草引き・自室のはたきかけ・床拭き・料理の下ごしらえ・食器拭き・洗濯物干し・たたみ・テレビ・音楽・ゲーム等一人ひとりに合った余暇時間を過ごし、みんなが同じ時間で動くのではなく、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 現在美容院を希望される方はいないが、職員が声をかけ、カットしたり、整髪したりしている。希望すれば近所の美容院の方が送迎等込みでカット等していただける。好みで髪を伸ばし、おしゃれをしたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) スーパーの広告や、料理の雑誌を見て献立を話してみたり、食材をみて何にするか、一緒に話しながらしたり、味見してもらって意見をいただいたり、調理法を伝授していただいたりしている。食材の下ごしらえをしたり、食器拭きをしてもらったり、参加していただいている。	
			(外部評価) 利用者の重度化がすすみ、できることが少なくなってきている現状があるが、いんげん豆のすじ取りや野菜の皮むき等、利用者が食事作りに少しでもかかわることができるように支援されている。事業所では、利用者一人ひとりに合わせた食形態に配慮され、ミキサー食でも食感を残すよう加減されたり、きざみ食については、きざむ大きさを調整されている。又、好みではないおかずを避けるのではなく、少なめに盛り、好みのものを多めにする等の工夫もされている。水分が多く摂れるように朝はおかゆ、また3食ともに汁物を付けるようにされている。調査訪問時、ご自分のお膳を下膳をされる利用者も見られた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人個人にあった食事の形態で食事していただいている。水分も定期的に進めている。管理が必要な方には、摂取表を作成して管理している。また食事制限・管理のある方には、体重管理・栄養管理等医者と相談しながら支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の歯磨きの声かけを行っている。また、必要な方には、洗面所まで誘導し、見守り・介助を行っている。全介助の方には、ガーゼ等活用し、口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) トイレ誘導が出来る方は、食事前後・水分補給前後を目安に行っている。おむつもしたらしたままでなく、残存機能を生かせるようにスタッフ同士で話し合い、検討し、実行するようにしている。排泄チェック表にて確認するようにしている。	
			(外部評価) 排泄チェック表から利用者個々のパターンの把握に努め、トイレ誘導等をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 散歩や日向ぼっこなど行ったり、犬と触れ合ったり、体を動かす機会を増やしている。また、ヨーグルトや、牛乳を加えた飲み物や、水分補給などその方にあった解消法を常に検討・実践している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 出来るだけ個人の意見を尊重しているが、特に拒否がなく、体調が安定している方は清潔面からも毎日入浴している。また、本人の病状に合わせての入浴も医者と相談して行っている。	
			(外部評価) 民家改修のホームで、浴室の広さには制限があるが、浴室のドアを取り除き、カーテンにしたり、すのこ等を利用して利用者が浴槽をまたぎやすいように工夫されている。介護度重度の方も安全に入浴できるよう、家庭用の入浴リフトを設置されていた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 散歩や入浴など行ったり、犬と触れ合ったり、リビングで過ごす時間を多くしたりと昼夜逆転しないように努めている。状況に応じて日中休息が取れるようにしている。どうしても眠れない方には、医者と相談し、眠剤を服用されている方もいる。布団干しを行い気持ちよく寝ていただけるようにもしている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬情報をファイルに整理し、内容を把握できるようにしている。また薬に変更があった場合は日誌の申し送りに記録・全員が確認するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 年齢や希望、体調を考えた対応を行っている。それぞれ散歩や草引き、ドライブ、買い物など楽しまれている。個々に合わせた方法なども試み、挑戦しているようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 積極的に希望を言う方が少なく、職員からの働きかけにより、買い物に行ったり、散歩したりしている。動くのが億劫なかたに対しては、庭で日向ぼっこして、お茶を飲んだり、おやつを食べたりと外気に触れる機会を作っている。毎週金曜日パン屋さんが来て選ぶ楽しみもある。	
			(外部評価) 食材の買い出しや外出に行かれたり、近くの喫茶店でケーキを食べに出かけることもある。天気の良い日は、近くの公園まで散歩されたり、時には公園でおやつを楽しまれることもある。ドライブも時々出かけられ、最近では、奥道後菊花展に行かれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 能力がある方に関しては、本人が希望した場合職員と一緒に買い物に行き、雑貨や衣類など購入する。現在は管理能力ない方がおられる。家族とも相談させていただき、要望もあり、能力的に困難なことから、所持・使用されている方がいない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話・手紙など、本人が希望すれば、制限はしていない。代わりに取次ぎしたり、手紙の代筆も出来るが、現在認知度が高度で電話・手紙等のやり取りが能力的に困難になっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関にはめだかを飼ったり、生花を飾ったり季節感を感じてもらったり、癒しの空間を作れるようにしている。庭にも季節の野菜を植えたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前に「みなみ」と事業所名が書かれたバス停が作られており、ベンチも置かれていた。民家改修型のホームで、玄関等には段差があり、利用者が外出から帰った際には「帰った」という気持ちになるようである。居間は、ガラスに装飾されていたり、ポインセチアの造花等が飾られ、クリスマスの雰囲気になっていた。居間から見える小さな畑には、いちごの苗が植えられていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングでたたみのイス設置。また、リビングで話したり、楽しんだり、自室で話の合うもので過ごしたりしている。人と関わる事が苦手な方には職員が必要に応じて働きかけしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>音楽が好きな方には、CDラジカセなどで音楽を楽しんでいたり、花好きな方には、花をかざったり、ご家族と撮った写真を飾ったりしている。入居前からの使い慣れた家具等を使ったり、落ち着けるように本人に合わせた家具を用意したりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人が作った陶芸作品や、ご家族の小物の作品を飾っておられる居室もあった。居室の掃除の際にはご自分ではたきをかけられる方もある。重度の方の部屋の壁には、胃ろうや体位変換の注意事項等を貼っておられた。</p>	居室で長時間過ごされるような方の部屋の環境作りについて、居心地良く過ごせるような環境になっているか、職員で話し合ってみてはどうだろうか。又、ご家族とも相談しながら個性や状態等も踏まえ、利用者一人ひとりの居室の環境作りについてアイデアを出し合い、取り組みをすすめていかれてはどうだろうか。
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>個々に合わせた環境づくりに努めている。今まで行っていなかったことも、個人の生活歴や好みに合わせた方法を検討するなど取り組みを行っている。</p>	